イ．技術者の経験に関する事項

① 現場代理人又は主任（監理）技術者は、下記の元請けとしてしゅん功（完了）認定された同種工事の経験を有すること。

同種工事１

供用中の道路において鋼構造物の補強、または鋼構造物の新設を実施した工事

同種工事２

鋼橋の塗替塗装を実施した工事

・同種工事１、同種工事２に対して提出できる工事経験は１名につき各々１件とするが、各工事の施工実績を同一の工事において有する必要はない。

・すべての工種の経験を同一の者が有している必要はない。

・特定建設工事共同企業体及び経常建設共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。乙型の共同企業体としての実績は、協定書の分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。なお、現場代理人としての実績においては、この限りではない。

⑳ 次に掲げる基準を満たす設計管理技術者及び照査技術者を当該業務に配置できること。

・設計管理技術者

設計管理技術者は、入札参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者とし、下記のいずれかに該当する者で、日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可）でなければならない。

① 技術士［建設部門（鋼構造及びコンクリート）］の資格保有者又はこれと同等の能力と経験を有する者。

② 技術士［総合技術監理部門（建設―鋼構造及びコンクリート）］の資格保有者。

③ ＲＣＣＭ［鋼構造及びコンクリート部門］の資格保有者。

④ 土木学会認定土木技術者（特別上級土木技術者（鋼・コンクリート分野）、上級土木技術者（鋼・コンクリート分野）又は１級土木技術者（鋼・コンクリート分野））のいずれかの資格保有者。

・照査技術者

照査技術者は、入札参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者とし、下記のいずれかに該当する者又はその者と同等の能力と経験を有する技術者でなければならない。なお、照査技術者は設計管理技術者を兼ねることができない。

① 技術士［建設部門（鋼構造及びコンクリート）］の資格保有者。

② 技術士［総合技術監理部門（建設―鋼構造及びコンクリート］の資格保有者。

③ ＲＣＣＭ［鋼構造及びコンクリート部門］の資格保有者。

④ 土木学会認定土木技術者（特別上級土木技術者（鋼・コンクリート分野）、上級土木技術者（鋼・コンクリート分野）又は１級土木技術者（鋼・コンクリート分野））のいずれかの資格保有者。

なお、外国資格を有する技術者（わが国及びＷＴＯ政府調達協定国その他建設市場が開放的であると認められる国等の業者に所属する技術者に限る。）については、あらかじめ技術士相当又はＲＣＣＭ相当との国土交通大臣認定（総合政策局建設振興課）を受けている必要がある。技術資料提出期限までに当該認定を受けていない場合にも技術資料を提出できるが、この場合、技術資料提出時に当該認定の申請書の写しを提出するものとし、当該業者が競争参加資格の確認を受けるためには競争参加資格確認結果通知の日までに大臣認定を受け、認定書の写しを提出しなければならない。

㉑ 入札不調となった場合の取り扱い　本工事の入札が不調となった場合、不調特命見積協議方式に移行する場合がある。

なお、不調特命見積協議方式とは、あらかじめ発注者の所定の手続きにおいて「不調特命見積協議方式に移行する」こととしている工事が入札不調になった場合、「契約制限価格」を「契約目安価格」に読み替え、最低入札価格提示者などの特定の１者を協議相手として選定し、見積書の内容について確認協議を行い、見積書の内容が妥当であると認められた場合は、提示された見積価格が契約目安価格を上回った場合でも協議後の価格で契約締結するものである。

㉒ 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更　本工事は「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終設計変更時点で設計変更する試行工事である。

営繕費：労働者の送迎費、宿泊費、借上費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤に要する費用

6 Summary

(1) Official in charge of the contract of the procuring entity : Toshio Nakai, Director General of Tokyo Branch, Central Nippon Expressway Company Limited.

(2) Classification of the services to be procured : 41

(3) Subject matter of the contract : Remedial works of Tomei Expressway Right route of Minasegawa Bridge

(4) Due date for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. 18 March 2019

(5) Due date for the submission of tenders by electric bidding system : 4 : 00 P.M. 31 May 2019. (If brought with you, 4 : 00 P.M. 31 May 2019)

(6) The language used for application and inquiry shall be Japanese

(7) Contact point for tender documentation : Assistant Manager of Contract Team, Corporate Department, Tokyo Branch, Central Nippon Expressway Company Limited. Shiroyama Trust Tower 11F, 4―3―1, Toranomon, Minato-ku, Tokyo, 105―6011 Tel. 03―5776―5600

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成31年２月15日

（契約責任者）中日本高速道路株式会社

東京支社長　中井　俊雄

◎調達機関番号　418　◎所在地番号　13

1　工事概要

(1) 品目分類番号　41

(2) 工事名　東名高速道路（特定更新等）滝沢川橋他２橋鋼橋補強工事（電子入札（郵送入札）対象案件）

(3) 工事場所

東名高速道路

自）神奈川県足柄上郡大井町山田

至）静岡県御殿場市東田中

(4) 工事内容　本件は、東名高速道路　大井松田ＩＣ～御殿場ＩＣ（右ルート）間に位置する滝沢川橋、成就院橋、鍛冶屋敷第一橋（鋼トラス橋）において、疲労き裂補強、耐震補強及び塗替塗装を行う工事である。

(5) 工事概算数量

疲労き裂補強　３橋

橋梁耐震補強　３橋

支承取替　30基

塗替塗装　約20,000㎡

詳細設計　１式

(6) 工期　契約締結日の翌日から1,230日間

(7) 使用する資機材

支承　約30基

コンクリート　約500㎥

鋼材　約230ｔ

(8) 本工事は、すべての入札参加者から単価表の提出を求める工事である。

(9) 本工事は、競争参加資格において「配置予定の技術者等」の配置基準を設けず、契約締結後の設置要件とする工事である。

⑩ 本工事は、入札時に入札説明書の設計図書に参考として示した図面及び仕様書において、あらかじめ指定する範囲についての工事目的物、施工方法及び仮設設備計画に関する改善提案（以下「技術提案」という。）を記載した総合評価技術提案資料を求め、価格と価格以外の要素とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の適用工事である。